



運用報告書（全体版）第16期（2019年1月1日～2019年12月31日）

**バンガード®・インデックス・ファンズ -
バンガード・スモールキャップ・インデックス・ファンド**
Vanguard Index Funds -
Vanguard Small-Cap Index Fund

米ドル建／オープンエンド契約型外国投資信託
米国デラウェア籍法定トラスト ETF クラス受益証券

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。
さて、バンガード・インデックス・ファンズ - バンガード・スモールキャップ・インデックス・ファンド（以下「ファンド」といいます。）は、このたび、第16期の決算を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

<ファンドの仕組み>

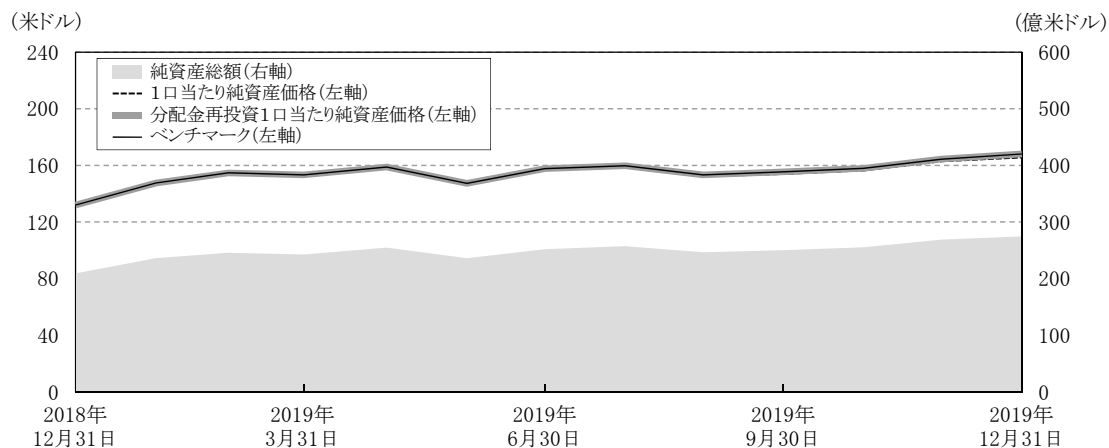
ファンド形態	米ドル建／オープンエンド契約型外国投資信託 米国デラウェア籍法定トラスト
信託期間	無期限
運用方針	ファンドは、小型銘柄の投資収益を測るベンチマーク・インデックスのパフォーマンスへの一致を目指して運用を行います。
主要投資対象	下記「運用方法」をご参照ください。
運用方法	ファンドは、米国の小企業の株式に広く分散したインデックスである CRSP US スモールキャップ・インデックス (CRSP US Small Cap Index) のパフォーマンスへの一致を企図したインデックス投資手法を用います。ファンドはインデックスを構成する株式にその資産の全てまたは実質上全てに投資することにより、目標インデックスを複製しようと試みており、インデックスにおけるウェイトとおおよそ同様の割合で各株式を保有しています。
投資制限	ファンドは、以下の基本的投資制限に従わなくてはなりません。基本的投資制限はファンドの株式の過半数にあたる受益者の承諾がなければ、いかなる方法によっても変更することはできません。かかる目的上、「過半数」の受益証券とは、①ファンドの純資産の50%以上に相当する受益証券を有する受益者または委任状を有する代理人が出席した上でのファンドの純資産の67%以上の賛成投票を表象する受益証券、または②ファンドの純資産の50%以上を表象する受益証券のいずれかか少ない方をいいます。 (i) 借入れ ファンドは、1940年投資会社法（以下「1940年法」という。）またはその他の準拠

	<p>法、その規則、もしくは米国証券取引委員会(以下「SEC」という。)またはファンドに対する権限を有するその他の規制当局が認める範囲内でのみ、借り入れを行うことができます。</p> <p>(ii) 商品 ファンドは、1940年法またはその他の準拠法、その規則、もしくはSECまたはファンドに対する権限を有するその他の規制当局が認める範囲内でのみ、商品に投資することができます。</p> <p>(iii) 分散 総資産の75%について、ファンドは(1)単一発行体の発行済議決権付証券の10%以上を購入し、または(2)その結果、ファンドの総資産の5%以上が当該証券の発行体に投資されることとなるような場合に証券を購入することはできません。本制限は米国政府またはその機関、または下部機構の債務には適用されません。</p> <p>(iv) 産業への集中投資 ファンドは、目標とするインデックスの構成に近似させるために必要な場合を除いて、主要な事業活動が同一業種または同一業界の発行者の証券に投資を集中させてはなりません。</p> <p>(v) 投資目的 ファンドの投資目的は株主決議なく変更できません。</p> <p>(vi) 貸付 ファンドは、1940年法またはその他の準拠法、その規則、もしくはSECまたはファンドに対する権限を有するその他の規制当局が認める範囲内でのみ、他者への貸付を行うことができます。</p> <p>(vii) 不動産 ファンドは、証券またはその他の証書を保有した結果として取得した場合を除き、不動産に直接投資をしてはなりません。本制限は、ファンドが(1)不動産の投資、取引を行うか、または不動産取引に従事する企業により発行されるか、もしくは(2)不動産またはその利益により担保または保証される証券またはその他の証書への投資を妨げるものではありません。</p> <p>(viii) 優先返済証券 ファンドは、1940年法またはその他の準拠法、その規則、もしくはSECまたはファンドに対する権限を有するその他の規制当局が認めた場合を除き、優先返済証券へ投資をしてはなりません。</p> <p>(ix) 引受 ファンドが1933年証券法に規定される証券の販売に関する引受会社とみなされる場合を除き、ファンドは他の発行者の証券の引受会社としての業務を行うことはできません。</p>
<p>分配方針</p>	<p>ファンドは、受益者に対して、全ての純所得(利息、配当から費用を控除した額)を、保有する資産の売却によって実現した短期または長期のネット・キャピタル・ゲイン同様分配します。所得の分配は通常年に4回、3月、6月、9月および12月に行われます。キャピタル・ゲインの分配があれば、通常年に1回、12月に行われます。さらに、ファンドは、随時、追加的な分配を年度の一定時点で行うことがあります。</p>

I. 計算期間中における運用の経過および運用状況の推移

(1) 運用の経過

① 1口当たり純資産価格の推移等



(注1) 分配金再投資1口当たり純資産価格は、税引前の分配金を分配時にファンドへ再投資したとみなして算出したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。以下同じです。

(注2) 分配金再投資1口当たり純資産価格は、第15期末の1口当たり純資産価格を起点として計算しています。

(注3) 分配金再投資1口当たり純資産価格は、各投資者の購入状況などにより課税条件が異なるため、分配金に対する税金を考慮しておりません。そのため、最終的な税引後の結果を示すものではありません。

(注4) ファンドのベンチマークは、スプライスト・スモールキャップ・インデックスです。スプライスト・スモールキャップ・インデックスとは、2003年5月16日まではラッセル2000インデックス、2013年1月30日まではMSCI USスモールキャップ1750インデックス、それ以後はCRSP USスモールキャップ・インデックスをいいます。

(注5) ベンチマークは、第15期末の1口当たり純資産価格を起点として計算しています。

バンガード・スモールキャップ・インデックス・ファンドのETFクラス受益証券(ティッカー:VB)は、「バンガード・スモールキャップETF」と称することがあります。また、本書においては、当ファンドの名称を英文アニュアルレポートに記載の英語名称で表記する場合や、ETFクラス受益証券を「ETF受益証券」と表記する場合があります

2018年12月31日から2019年12月31日までのファンドのパフォーマンス

	期初の価格	期末の価格	1口当たり分配金	
			インカム分配	キャピタルゲイン
ファンド	131.94 米ドル	165.64 米ドル	2.305 米ドル	0.000 米ドル

2019年12月31日に終了する期間までの年間平均トータルリターン

	1年	5年	10年	投資額 10,000 米ドル に対する最終価格
ファンド 純資産価格	27.37%	8.89%	12.81%	33,370 米ドル
ファンド 市場価格	27.44	8.88	12.82	33,397
ベンチマーク	27.35	8.86	12.78	33,280
ダウ・ジョーンズ USト ータル・ストック・マー ケット浮動調整指数	30.90	11.18	13.43	35,251

(注1) トータルリターンは、表示通貨（米ドル）建ての純資産価格に基づき計算されております。

(注2) ETF 受益証券について、市場価格は、ニューヨーク証券取引所の通常取引終了時（通常、米国東部標準時間時午後4時）の呼値スプレッドの中間値によって決定されます。ファンド総資産の市場価格から負債を控除し、発行済ファンド受益証券口数で除すことにより計算される純資産価格もまた、ニューヨーク証券取引所の通常取引終了時に決定されます。

② 分配金について

当期（2019年1月1日～2019年12月31日）の1口当たり分配金（税引前）はそれぞれ下表のとおりです。なお、下表の「分配金を含む1口当たり純資産価格の変動額」は、当該分配落日における1口当たり分配金額と比較する目的で、便宜上算出しているものです。

（金額：米ドル）

分配落日	1口当たり純資産価格	1口当たり分配金額 （対1口当たり純資産 価格比率 ^{（注1）} ）	分配金を含む1口当 たり純資産価格の変 動額 ^{（注2）}
2019年3月28日	152.19	0.4766 0.31%	28.86
2019年6月27日	154.72	0.4847 0.31%	3.01
2019年9月16日	158.01	0.4507 0.28%	3.74
2019年12月24日	165.89	0.8928 0.54%	8.77

（注1）「対1口当たり純資産価格比率」とは、以下の計算式により算出される値であり、ファンドの収益率とは異なる点にご留意ください。

対1口当たり純資産価格比率（%）＝ $100 \times a / b$

a＝当該分配落日における1口当たり分配金額

b＝当該分配落日における1口当たり純資産価格＋当該分配落日における1口当たり分配金額

以下同じです。

（注2）「分配金を含む1口当たり純資産価格の変動額」とは、以下の計算式により算出されます。

分配金を含む1口当たり純資産価格の変動額＝ $b - c$

b＝当該分配落日における1口当たり純資産価格＋当該分配落日における1口当たり分配金額

c＝当該分配落日の直前の分配落日における1口当たり純資産価格

以下同じです。

（注3）2019年3月28日の直前の分配落日（2018年12月24日）における1口当たり純資産価格は、123.81米ドルでした。

③ 1口当たり純資産価格の主な変動要因、投資環境およびポートフォリオについて

ファンドのパフォーマンス

- 2019年12月31日に終了した12か月間に、バンガードの米国小型株インデックス・ファンド3つのリターンは Vanguard Small-Cap Value Index Fund の22%超から Vanguard Small-Cap Growth Index Fund の32%超までにわたりました。グロース銘柄およびバリュース銘柄の両方に投資する Vanguard Small-Cap Index Fund のリターンは、27%を超えました。各ファンドは、それぞれのベンチマークに密接に連動しました。
- グロース銘柄はバリュース銘柄よりは明らかによいパフォーマンスを示し、大型株が中小型株を上回りました。
- セクター別では、金融が Vanguard Small-Cap Index Fund および Vanguard Small-Cap Value Index Fund に最も貢献し、テクノロジーが Vanguard Small-Cap Growth Index Fund に最も貢献しました。3ファンド全てで、通信および石油・ガスが、唯一の足枷となりました。
- 2019年12月31日までの10年間の年間平均リターンは、Vanguard Small-Cap Index Fund で約13%、Vanguard Small-Cap Value Index Fund で約12%、Vanguard Small-Cap Growth Index Fund で13%超となりました。

*上記の記述は、Vanguard Small-Cap Index Fund、Vanguard Small-Cap Growth Index Fund および Vanguard Small-Cap Value Index Fund のETFクラス受益証券を含む全ての受益証券クラスについてのものであります。

(2) 今後の運用方針

ファンドは、小型銘柄の投資収益を測るベンチマーク・インデックスのパフォーマンスへの一致を目指します。今後も投資方針に従い、引き続き運用を行います。

(3) 費用の明細

項目	項目の概要		注
管理費用	純資産価額の年率 0.04%	管理的性格の業務および事業運営にかかる業務の対価	費用の料率は、2020年4月28日付英文目論見書に記載された現会計年度の見込み費用です。 2019年12月31日に終了した会計年度において、費用料率は合計0.05%でした。
12b-1 販売費用	なし	該当なし	
その他の費用	0.01%	ファンドが負担したその他の費用金額	
ファンドの年次運営費用合計	0.05%		

II. 運用実績

① 純資産の推移

	純資産総額		1口当たり純資産価格	
	百万米ドル	日本円(百万円)	米ドル	日本円
第7会計年度末 (2010年12月末日)	4,843	530,599	72.58	7,952
第8会計年度末 (2011年12月末日)	3,683	403,509	69.7	7,636
第9会計年度末 (2012年12月末日)	4,691	513,946	80.89	8,862
第10会計年度末 (2013年12月末日)	8,217	900,255	110.02	12,054
第11会計年度末 (2014年12月末日)	9,833	1,077,303	116.61	12,776
第12会計年度末 (2015年12月末日)	11,478	1,257,530	110.71	12,129
第13会計年度末 (2016年12月末日)	16,153	1,769,723	128.90	14,122
第14会計年度末 (2017年12月末日)	21,605	2,367,044	147.71	16,183
第15会計年度末 (2018年12月末日)	20,914	2,291,338	131.94	14,455
第16会計年度末 (2019年12月末日)	27,442	3,006,546	165.64	18,148

(注1) 米ドルの円貨換算は、2019年12月30日現在の株式会社三菱UFJ銀行の対顧客電信売買相場の仲値(1米ドル=109.56円)によります。

(注2) ETF受益証券の設定日は、2004年1月26日です。

(注3) 本書の中で金額および比率を表示する場合、四捨五入しているため合計の数字が一致しない場合があります。円貨への換算は、本書の中でそれに対応する数字につき所定の換算率で単純計算のうえ、必要な場合四捨五入してあります。従って、本書中の同一情報につき異なった円貨表示がなされている場合もあります。

② 分配の推移

	1口当たり分配金	
	米ドル	日本円
第7会計年度	0.846	93
第8会計年度	0.946	104
第9会計年度	0.719	79
第10会計年度	1.439	158
第11会計年度	1.673	183
第12会計年度	1.637	179
第13会計年度	1.930	211
第14会計年度	1.995	219
第15会計年度	2.201	241
第16会計年度	2.305	253

③ 投資資産(2019年12月末日現在)

下記「IV.ファンドの経理状況」の純資産計算書を参照ください。

III. 純資産計算書

(2019年12月末日)

	千米ドル	日本円(千円)
総資産額(Vanguard Small-Cap Index Fund 全体)	98,707,267	10,814,368,173
総負債額(Vanguard Small-Cap Index Fund 全体)	1,942,590	212,830,160
純資産価額(ファンド)	27,441,753	3,006,518,459
発行済み受益証券総数(ファンド)	165,673,755	口
1口当たり純資産価格(ファンド)	\$165.64	¥18,148

IV. ファンドの経理状況

独立登録会計事務所の監査報告書

Vanguard Index Funds の受託者の理事会、ならびに Vanguard Small-Cap Index Fund、Vanguard Small-Cap Growth Index Fund および Vanguard Small-Cap Value Index Fund の受益者各位

財務諸表に係る意見

私どもは、添付の 2019 年 12 月 31 日現在の Vanguard Small-Cap Index Fund、Vanguard Small-Cap Growth Index Fund および Vanguard Small-Cap Value Index Fund (これらの 3 ファンドは Vanguard Index Funds を構成し、以下総称して「ファンド」という。)の純資産計算書—投資サマリー、2019 年 12 月 31 日に終了した年度の損益計算書、2019 年 12 月 31 日に終了した期間の 2 年間それぞれについての純資産変動計算書(関連注記を含め)、2019 年 12 月 31 日に終了した期間の 5 年間それぞれについての財務ハイライト(以下総称して「財務諸表」という。)を監査した。私どもの意見では、添付の財務諸表は、米国で一般に公正妥当と認められる会計原則に準拠して、2019 年 12 月 31 日現在の各ファンドの財政状態、ならびに同日に終了した年度の各ファンドの運用成績、2019 年 12 月 31 日に終了した期間の 2 年間それぞれについての各ファンドの純資産の変動、2019 年 12 月 31 日に終了した期間の 5 年間それぞれについての各ファンドの財務ハイライトをすべての重要な点において、適正に表示している。

監査意見の基礎

財務諸表はファンドの経営陣が責任を負うものである。私どもの責任は、私どもの監査に基づいてファンドの財務諸表について意見を表明することである。私どもは公開企業会計監視委員会(米国)(PCAOB)に登録された監査法人であり、米国連邦証券法および関連規則、ならびに米証券取引委員会および PCAOB の規則に準拠して、ファンドに関して独立であることを義務付けられている。

私どもは、PCAOB の基準に準拠して、これらの財務諸表の監査を実施した。これらの基準は、財務諸表に不正または誤謬による重大な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、私どもが監査を計画し実施することを求めている。

私どもの監査には、不正または誤謬による財務諸表の重大な虚偽表示リスクを評価するための手続きを実施し、かかるリスクに対処する手続きを実施することが含まれる。かかる手続きには、試査による財務諸表の金額および開示事項を裏付ける証拠の検証が含まれる。私どもの監査にはまた、経営陣が採用した会計原則および経営陣が行った重要な見積りの検討、ならびに財務諸表全体の表示に関する評価も含まれる。私どもの手続きには、カストディアンおよびブローカーに対する書面ならびに名義書換事務代行会社の所有持分の記録との照合による 2019 年 12 月 31 日現在における有価証券の確認も含まれる。ブローカーからの返答が得られない場合は、私どもは別の監査手続きを実施した。私どもの監査が、私どもの意見表明に関する合理的な基礎を与えるものであると確信している。

プライスウォーターハウスクーパースエルエルピー

ペンシルバニア州フィラデルフィア

2020 年 2 月 13 日

私どもは、1975 年以降、The Vanguard Group of Funds の 1 社以上の投資会社の監査人を務めている。

財務諸表

純資産計算書—投資サマリー

2019年12月31日現在

この計算書は、ファンドの保有銘柄を資産種類ごとに要約したものである。ファンドの保有上位各 50 銘柄およびいかなる発行体に対しても総額でファンド純資産の 1%以上を占める投資に関しては詳細を報告している。それより小さな保有割合の総額は、各分類内で一つの金額として報告されている。当ファンドは、各会計年度中 4 回にわたり、証券取引委員会(「SEC」)に保有銘柄の完全な明細表を提出している。第 2 四半期と第 4 四半期については、ファンドの保有銘柄の完全なリストを www.vanguard.com およびフォーム N-CSR から入手することができる。また、800-662-7447 に電話すると無料で郵送してもらうことができる(訳注:日本の受益者については、適用されない。)。各会計年度の第 1 四半期と第 3 四半期については、ファンドの保有銘柄の完全なリストをフォーム N-PORT の報告書の添付書類として入手することができる。ファンドのフォーム N-CSR およびフォーム N-PORT の報告書は、SEC のウェブサイト(www.sec.gov)で入手することができる。

	株数	市場価格* (千米ドル)	純資産に 占める割合
普通株式			
素材			
RPM International Inc.	3,251,780	249,607	0.3%
素材—その他 †		3,150,676	3.2%
		3,400,283	3.5%
消費材			
* US Foods Holding Corp.	5,533,703	231,807	0.2%
消費材—その他 †		6,541,358	6.8%
		6,773,165	7.0%
消費者サービス			
* Trade Desk Inc. Class A	996,329	258,826	0.3%
* Liberty Media Corp-Liberty Formula One	4,830,146	222,018	0.2%
* Bright Horizons Family Solutions Inc.	1,450,894	218,055	0.2%
消費者サービス—その他 †		10,277,818	10.6%
		10,976,717	11.3%
金融			
Equity LifeStyle Properties Inc.	4,340,510	305,528	0.3%
Medical Properties Trust Inc.	12,971,191	273,822	0.3%
Apollo Global Management LLC	5,011,819	239,114	0.3%
Liberty Property Trust	3,972,378	238,541	0.3%
Brown & Brown Inc.	6,030,100	238,068	0.3%
Omega Healthcare Investors Inc.	5,496,315	232,769	0.2%
National Retail Properties Inc.	4,324,456	231,877	0.2%
Kilroy Realty Corp.	2,662,725	223,403	0.2%
VICI Properties Inc.	8,608,470	219,946	0.2%
Gaming and Leisure Properties Inc.	5,107,333	219,871	0.2%
RenaissanceRe Holdings Ltd.	1,108,786	217,344	0.2%
金融—その他 †		22,213,932	23.0%
		24,854,215	25.7%
ヘルスケア			
STERIS plc	2,119,010	322,979	0.3%
West Pharmaceutical Services Inc.	1,849,278	278,002	0.3%
PerkinElmer Inc.	2,779,106	269,851	0.3%
* Insulet Corp.	1,546,899	264,829	0.3%

	株数	市場価格・ (千米ドル)	純資産に 占める割合
* Neurocrine Biosciences Inc.	2,299,769	247,202	0.3%
* Sarepta Therapeutics Inc.	1,769,259	228,305	0.2%
* Molina Healthcare Inc.	1,567,641	212,713	0.2%
Bio-Techne Corp.	951,288	208,817	0.2%
§ ヘルスケアーその他 †		9,849,653	10.2%
		11,882,351	12.3%
資本財・サービス			
* Zebra Technologies Corp.	1,347,658	344,246	0.4%
IDEX Corp.	1,906,211	327,868	0.4%
* Teledyne Technologies Inc.	914,947	317,066	0.3%
Allegion plc	2,328,901	290,041	0.3%
* Fair Isaac Corp.	687,305	257,519	0.3%
Booz Allen Hamilton Holding Corp. Class A	3,515,076	250,027	0.3%
Carlisle Cos. Inc.	1,412,888	228,662	0.2%
* WEX Inc.	1,077,530	225,699	0.2%
Lennox International Inc.	913,464	222,858	0.2%
Universal Display Corp.	1,062,814	219,014	0.2%
Graco Inc.	4,159,282	216,283	0.2%
Toro Co.	2,672,265	212,899	0.2%
Nordson Corp.	1,287,856	209,714	0.2%
資本財・サービスーその他 †		16,663,526	17.3%
		19,985,422	20.7%
石油・ガス †		2,622,296	2.7%
§.1 その他 †		2,121	0.0%
テクノロジー			
Leidos Holdings Inc.	3,550,127	347,522	0.4%
* Tyler Technologies Inc.	978,375	293,532	0.3%
Teradyne Inc.	4,206,983	286,874	0.3%
* EPAM Systems Inc.	1,305,005	276,870	0.3%
* DocuSign Inc. Class A	3,532,015	261,758	0.3%
* ON Semiconductor Corp.	10,261,704	250,180	0.3%
* Coupa Software Inc.	1,569,892	229,597	0.2%
* Guidewire Software Inc.	2,081,176	228,451	0.2%
Cypress Semiconductor Corp.	9,300,771	216,987	0.2%
* Zendesk Inc.	2,811,353	215,434	0.2%
テクノロジーーその他 †		9,258,364	9.6%
		11,865,569	12.3%
通信サービス †		326,396	0.3%
公益事業			
Atmos Energy Corp.	2,987,680	334,202	0.4%
Aqua America Inc.	5,424,275	254,615	0.3%
UGI Corp.	5,200,382	234,849	0.2%
公益事業ーその他 †		2,340,215	2.4%
		3,163,881	3.3%
普通株式総額(取得原価72,730,861米ドル)		95,852,416	99.1%²

	クーポン	口数	市場価格・ (千米ドル)	純資産に 占める割合
短期現物投資				
マネー・マーケット・ファンド				
^{3,4} Vanguard Market Liquidity Fund	1.816%	25,231,738	2,523,426	2.6%
⁵ 米国政府および政府機関債 †			33,613	0.0%
短期現物投資総額 (取得原価2,556,776米ドル)			2,557,039	2.6%²
⁶ 投資総額 (取得原価75,287,637米ドル)			98,409,455	101.7%
			金額 (千米ドル)	
その他資産および負債				
その他資産				
バンガードへの投資			4,286	
投資有価証券売却未収金			82,434	
未収収益			132,536	
受益証券発行未収金			58,606	
未収変動証拠金－先物契約			1,146	
未実現評価益－店頭スワップ契約			3,694	
その他資産 ^{4,5}			15,110	
その他資産合計			297,812	0.3%
負債				
投資有価証券購入未払金			(6,466)	
貸付有価証券にかかる担保			(1,651,570)	
受益証券償還未払金			(259,852)	
バンガードへの未払金			(19,094)	
その他負債			(5,608)	
負債合計			(1,942,590)	(2.0%)
純資産			96,764,677	100.0%

2019年12月31日現在の純資産構成は以下の通りである。

	金額	
	(千米ドル)	(百万円)
払込資本金	76,814,418	8,415,788
分配可能利益(損失)総額	19,950,259	2,185,750
純資産	96,764,677	10,601,538
インベスター受益証券－純資産		
発行済み受益証券 9,496,906 口 (額面 0.001 米ドル、無制限授權)	753,617	82,566
1口当たり純資産価格－インベスター受益証券	\$79.35	¥8,694
ETF受益証券－純資産		
発行済み受益証券 165,673,755 口 (額面 0.001 米ドル、無制限授權)	27,441,753	3,006,518
1口当たり純資産価格－ETF受益証券	\$165.64	¥18,148
アドミラル受益証券－純資産		
発行済み受益証券 534,018,888 口 (額面 0.001 米ドル、無制限授權)	42,386,448	4,643,859
1口当たり純資産価格－アドミラル受益証券	\$79.37	¥8,696
インスティテューショナル受益証券－純資産		
発行済み受益証券 218,427,513 口 (額面 0.001 米ドル、無制限授權)	17,336,565	1,899,394
1口当たり純資産価格－インスティテューショナル受益証券	\$79.37	¥8,696
インスティテューショナル・プラス受益証券－純資産		
発行済み受益証券 38,614,833 口 (額面 0.001 米ドル、無制限授權)	8,846,294	969,200
1口当たり純資産価格－インスティテューショナル・プラス受益証券	\$229.09	¥25,099

• 財務諸表の注記 A を参照のこと。

* 配当を出さない有価証券。

§ 当ファンドの有価証券の一部は、重要な観察不能なインプットを用いて評価されている。

† 保有上位 50 銘柄に含まれず、またいかなる発行体に対しても全体で純資産の 1%以下である有価証券の総額を区分ごとに表示したものである。

1 「その他」は、ファンドのベンチマークによって分類されていない有価証券を表す。

2 当ファンドは、現金準備高の一部をインデックス先物契約およびスワップ契約を用いて株式市場に投資している。先物およびスワップ投資の影響を考慮すれば、当ファンドの実質的な普通株式および短期現物投資のポジションは、純資産のそれぞれ 100.0%および 1.7%である。

3 バンガード・ファンドならびにバンガードが管理する一部の信託および口座にのみ利用可能な関連会社のマネー・マーケット・ファンド。提示されているレートは7日間の利回りである。

4 貸付有価証券にかかる受取担保額は 1,651,570,000 米ドルで、このうち 1,636,764,000 米ドルを Vanguard Market Liquidity Fund で保有、14,806,000 米ドルを現金で保有している。

- 5 未決済先物契約の当初証拠金として分別管理された有価証券は 33,610,000 米ドル、現金は 303,000 米ドルである。
- 6 貸付有価証券の時価総額は 1,582,087,000 米ドルである。

OTC-店頭

期末現在未決済のデリバティブ金融商品

先物契約				(千米ドル)
	満期	ロング(ショート) 契約数	想定元本	価値および 未実現評価益 (評価損)
買建先物契約				
E-mini ラッセル 2000 指数	2020年3月	5,850	488,651	5,767
E-mini S&P ミッドキャップ 400 指数	2020年3月	1,847	381,369	6,619
				12,386

店頭トータル・リターン・スワップ

参照企業	満期日	カウンター パーティー	想定元本 (千米ドル)	受取(支払) 変動金利 ¹ (%)	価値および 未実現 評価益 (千米ドル)	価値および 未実現 評価損 (千米ドル)
Assurant Inc.	2/4/20	GSI	6,521	(1.945)	28	—
VICI Properties Inc.	2/4/20	GSI	73,830	(1.745)	3,666	—
					3,694	—

- 1 月間受取額／支払額。

GSI—Goldman Sachs International

2019年12月31日現在、契約相手方は、未決済店頭スワップ契約に関して、価格 2,786,000 米ドルの有価証券を分離口座に保管していた。2019年12月31日以降、契約相手方は、2019年12月31日現在の未決済店頭スワップ契約に関して、1,061,000 米ドルの追加担保を差し入れた。

添付の注記は財務諸表の不可欠な一部である。

損益計算書

	2019年12月31日に 終了した年度	
	(千米ドル)	(百万円)
投資収益		
収益		
配当金	1,325,778	145,252
利息 ¹	19,680	2,156
貸付有価証券、純額	49,080	5,377
収益総額	1,394,538	152,786
費用		
バンガード・グループ—注記B		
投資顧問サービス	4,918	539
マネジメントおよび管理—インベスター受益証券	3,530	387
マネジメントおよび管理—ETF受益証券	8,855	970
マネジメントおよび管理—アドミラル受益証券	14,122	1,547
マネジメントおよび管理—インスティテューショナル受益証券	4,984	546
マネジメントおよび管理—インスティテューショナル・プラス受益証券	1,872	205
マーケティングおよび販売—インベスター受益証券	216	24
マーケティングおよび販売—ETF受益証券	1,220	134
マーケティングおよび販売—アドミラル受益証券	2,196	241
マーケティングおよび販売—インスティテューショナル受益証券	553	61
マーケティングおよび販売—インスティテューショナル・プラス受益証券	106	12
カस्टディアン報酬	639	70
監査報酬	41	4
受益者報告—インベスター受益証券	36	4
受益者報告—ETF受益証券	868	95
受益者報告—アドミラル受益証券	373	41
受益者報告—インスティテューショナル受益証券	212	23
受益者報告—インスティテューショナル・プラス受益証券	69	8
受託者報酬および費用	47	5
費用総額	44,857	4,915
純投資収益	1,349,681	147,871
純実現利益(損失)		
売却投資有価証券 ^{1,2}	3,391,973	371,625
先物契約	107,541	11,782
スワップ契約	15,201	1,665
純実現利益(損失)	3,514,715	385,072
未実現評価益(評価損)の変動		
投資有価証券 ¹	16,269,796	1,782,519
先物契約	39,734	4,353
スワップ契約	6,200	679
未実現評価益(評価損)の変動	16,315,730	1,787,551
運用による純資産の純増加(減少)額	21,180,126	2,320,495

- 1 当ファンドの関連会社からの利息収益、純実現利益(損失)および未実現評価益(評価損)の変動は、それぞれ18,782,000米ドル、45,000米ドルおよび138,000米ドルであった。購入および売却は、短期現物投資目的である。
- 2 現物償還による純利益(損失)5,586,779,000米ドルが含まれる。この利益(損失)は当ファンドの課税対象ではない。

添付の注記は財務諸表の不可欠な一部である。

純資産変動計算書

	2019年12月31日 に終了した年度		2018年12月31日 に終了した年度	
	(千米ドル)	(百万円)	(千米ドル)	(百万円)
純資産の増加(減少)				
運用				
純投資収益	1,349,681	147,871	1,294,560	141,832
純実現利益(損失)	3,514,715	385,072	6,040,556	661,803
未実現評価益(評価損)の変動	16,315,730	1,787,551	(15,419,365)	(1,689,346)
運用による純資産の純増加(減少)額	21,180,126	2,320,495	(8,084,249)	(885,710)
分配				
純投資収益				
インベスター受益証券	(25,052)	(2,745)	(53,605)	(5,873)
ETF受益証券	(376,516)	(41,251)	(338,290)	(37,063)
アドミラル受益証券	(573,717)	(62,856)	(513,969)	(56,310)
インスティテューショナル受益証券	(252,735)	(27,690)	(239,319)	(26,220)
インスティテューショナル・プラス受益証券	(127,673)	(13,988)	(138,982)	(15,227)
実現キャピタルゲイン				
インベスター受益証券	—	—	—	—
ETF受益証券	—	—	—	—
アドミラル受益証券	—	—	—	—
インスティテューショナル受益証券	—	—	—	—
インスティテューショナル・プラス受益証券	—	—	—	—
分配総額	(1,355,693)	(148,530)	(1,284,165)	(140,693)
資本持分取引				
インベスター受益証券	(3,270,489)	(358,315)	(629,069)	(68,921)
ETF受益証券	1,083,803	118,741	1,850,347	202,724
アドミラル受益証券	2,881,296	315,675	1,357,792	148,760
インスティテューショナル受益証券	(806,199)	(88,327)	895,441	98,105
インスティテューショナル・プラス受益証券	(895,629)	(98,125)	(793,473)	(86,933)
資本持分取引による純増加(減少)額	(1,007,218)	(110,351)	2,681,038	293,735
増加(減少)総額	18,817,215	2,061,614	(6,687,376)	(732,669)
純資産				
期首	77,947,462	8,539,924	84,634,838	9,272,593
期末	96,764,677	10,601,538	77,947,462	8,539,924

添付の注記は財務諸表の不可欠な一部である。

財務諸表注記

Vanguard Small-Cap Index Fundは、1940年投資会社法に基づきオープン・エンド型投資会社すなわちミューチュアル・ファンドとして登録されている。当ファンドは、インベスター受益証券、ETF受益証券、アドミラル受益証券、インスティテューショナル受益証券、インスティテューショナル・プラス受益証券の5種類のクラスを提供している。受益証券の各クラスの適格基準および最低購入条件は異なり、様々な種類の投資者向けに設計されている。ETF受益証券は、NYSE Arcaに上場されており、ブローカーを通して売買が可能である。

A. 以下の重要な会計方針は、米国の投資会社に適用される一般に公正妥当と認められる会計原則に準拠している。当ファンドは財務諸表作成の際にこれら会計方針を継続的に適用している。

1. 有価証券の評価:有価証券は、評価日におけるニューヨーク証券取引所の終値(通常東部時間の午後4時)で評価される。持分証券は、各有価証券が取引されている主な市場から取得した直近の売値または公式な終値で評価される。評価日に約定のなかった有価証券は、直近の売買気配値の仲値を用いて評価される。市場取引価格を容易に入手することができない有価証券、あるいはファンドの価格決定時前で有価証券が主に取引されている市場の終了後に生じた事象により価格が大きく影響された有価証券については、受託者の理事会により公正価値を表すとみなされた方法で評価される。Vanguard Market Liquidity Fundに対する投資はファンドの純資産価額で評価されている。短期現物投資は、直近の買値、または(有価証券の価格、利回り、満期および格付等の要素を考慮した)マトリクス・システムの評価に基づき評価される。どちらの評価方法も、独立した価格提供業者により提供されている。
2. 先物契約:当ファンドは、一定の範囲内において、指数先物契約を活用する。これは、株式市場に対する十分なエクスポージャーを維持し、流動性を維持し、取引費用を最小化するという目的のために行われる。当ファンドは、流入資金を市場に迅速に投資するために先物契約を購入したり、資金流失への対応として先物を売却することがある。これによって、流動性確保のために現金残高を維持しながら、基準とするインデックスに対し十分な投資ポジションを擬似的に持つことができる。先物契約を利用することに伴う主要なリスクは、ファンドが保有する株式の市場価格の変動と先物契約の価格との間で不完全な相関関係が生じることであり、また市場が非流動的になる可能性である。先物に伴うカウンターパーティー・リスクは、決済ブローカーではなく規制された決済機関がカウンターパーティーであるために緩和される。さらにカウンターパーティー・リスクを緩和するために、当ファンドは取引所で先物契約を取引し、決済ブローカーや決済機関の財務の健全性を監視し、決済ブローカーと決済契約を締結している。決済機関は、当ファンドの履行の保証のために当初証拠金を課し、各契約の市場価格の変動を表す変動証拠金を毎日決済することを義務付けている。未決済契約について当初証拠金として差し入れられている資産は、純資産計算書において注記されている。

先物契約は、日次の決済引値で評価される。契約の名目元本は、純資産計算書上に記載されない。契約の価値の変動は、実現先物利益(損失)として計上されている場合、契約解消までは純資産計算書においては資産(負債)として、損益計算書においては未実現評価益(評価損)として計上されている。

2019年12月31日に終了した年度中、年度中の各四半期末現在の名目元本の平均によれば、ファンドの買建て、売建ての先物契約への投資は平均して、それぞれ純資産の1%未満および0%であった。

3. スワップ契約:当ファンドはファンドの目標指数に含まれる選定された参照銘柄について、トータルリターンを得るために株式スワップ契約を締結している。スワップ契約の条件に基づき、当ファンドは規定された期間にわたって、選定された参照銘柄の指定された株数の、当該株式スワップの開始時点の価値である想定元本に適用される当該参照銘柄にかかるトータルリターンを受け取る(すなわち、選定された参照銘柄の価値の増加を受け取り、価値の減少を支払うことに加えて、当該選定された参照銘柄の配当相当額を受け取る)。当ファンドは、また、短期金利に基づいた変動金利を想定元本に適用した利息を支払う。同時に、当ファンドはスワップの想定元本に概ね等しい額を高格付の短期現物投資に投資する。

スワップ契約の想定元本は、純資産計算書上に記載されない。スワップは、独立した価格提供者または一般に認められているディーラーより提供される市場相場に基づいて日次で評価され、価値の変動は、純資産計算書上に資産(負債)として記載される。また、損益計算書上、スワップが終了するまでは未実現評価益(評価損)として、終了時には実現利益(損失)として記載される。

すべての種類のスワップに伴うリスクは、カウンターパーティーが当ファンドに対して正味金額を支払う義務の履行を怠る可能性である。当ファンドの、カウンターパーティー・リスクの対象となる最大金額は、当該スワップ契約にかかる未実現評価益である。当ファンドは、スワップ契約を事前公認されたカウンターパーティーの多様なグループとのみ行い、その財務の健全性を監視し、そうしたカウンターパーティーとマスター・ネットイング・アグリーメントを締結し、カウンターパーティーにその契約履行を保証するための担保の差入れを求めることで、カウンターパーティー・リスクを軽減している。債務不履行がない場合、ファンドが差し入れたあるいは受け入れた担保は、再担保、転売または二重担保とすることはできない。カウンターパーティーが債務不履行となった場合(破産を含む)、当ファンドは当該カウンターパーティーとのあらゆるスワップ契約を終了し、マスター・ネットイング・アグリーメントに従っていずれかの当事者の未払債務金額を決定し、マスター・ネットイング・アグリーメントに基づいて、当ファンドに対する未払いの純額を上限に、保有する担保を売却するか留保することができる。スワップ契約には、当ファンドの純資産が一定水準を下回った場合に、カウンターパーティーが未決済契約を解約することを認め、解約時に当ファンドが純負債ポジションにあった場合にファンドによる支払いを引き起こす条項が含まれている。この支払額は、当ファンドが差し入れている担保の部分だけ減額されることになる。未決済契約について担保として差し入れられている有価証券は、純資産計算書において注記されている。授受された担保の評価額は、各カウンターパーティーとのスワップ契約エクスポージャーの額と日次で比較され、差異が規定されてい

る最低授受額を超過した場合、調整が行われ、2営業日以内に決済される。

2019年12月31日に終了した年度中、年度中の各四半期末現在の想定元本の平均によれば、当ファンドのトータル・リターン・スワップ投資の平均金額は、純資産の1%未満であった。

4. 連邦所得税: 当ファンドは、規制投資会社としての資格を有し、すべての課税所得を分配することを意図している。経営陣は、未確定のすべての課税年度(2016年12月31日から2019年12月31日)の連邦所得税の申告に関して当ファンドの税務ポジションを分析し、当ファンドの財務諸表に所得税引当の必要はないとの結論に達した。
5. 分配: 受益者に対する分配は、配当落ち日に記録される。分配金額は税法基準によって決定されるため、財務報告目的の純投資収益および実現キャピタルゲインとは異なる可能性がある。
6. 貸付有価証券: 当ファンドは、追加収益を得るために、適格機関投資家に有価証券を貸し付ける。有価証券の貸付は、随時ファンドによる解約が可能で、貸し付けられた有価証券の市場価格と少なくとも同等の金額の担保によって常に保全されることが求められる。日々の市場の変動により、貸付有価証券の価値が受け取った担保金額を上回ったり下回ったりすることになる。この場合、担保は調整され、翌営業日の取引開始前に決済される。当ファンドは、証券貸付取引を事前公認されたカウンターパーティーの多様なグループとのみ行い、その財務の健全性を監視し、そうしたカウンターパーティーとマスター証券貸付契約を締結することで、カウンターパーティー・リスクをさらに緩和している。マスター証券貸付契約に基づき、カウンターパーティーが債務不履行となった場合(破産を含む)、当ファンドは借り手との融資を終了し、未払金額を決定し、当ファンドに対する未払いの純額を上限に担保を売却するか留保することができる。ただし、かかる行為は法的手続きを条件とする。担保はカウンターパーティー・リスクを緩和するが、債務不履行が生じた場合、当ファンドには貸付証券の回収において遅延や費用が生じることがある。当ファンドは、有価証券貸付期間中、受領した現金担保をVanguard Market Liquidity Fundに投資し、担保の返済について純資産計算書上に負債を計上している。貸付有価証券による収益は、借手に請求される手数料および現金担保による収益から貸付関連費用を控除したものを表している。貸付期間中、ファンドは貸し付けた有価証券に対してまたは関連して行われたすべての分配金に対して権利を有する。
7. 借入枠: 当ファンドおよびバンガード・グループ(「バンガード」)が管理する特定のその他のファンドは、シンジケート団が毎年更新することができる与信契約に従って提供する43億米ドルのコミットメント・ラインに参加しており、当該借入枠の下で借入を行った場合は、各ファンドはその借入に対して個別に責任を負う。借入は、一時的資金および緊急時資金の調達目的に利用される場合があり、当ファンドの規制上および契約による借入の制約を受ける。借入枠に参加するファンドに対しては、管理手数料および借入枠の未使用額の0.10%に相当する年間コミットメント・フィーが賦課され、これらの手数料は、ファンドの受託者の理事会が承認した方法でファンドに配分され、ファンドの損益計算書のマネジメントおよび管理費用に含まれる。この借入枠の下での借入には、1か月物のロ

ンドン銀行間取引金利、実効フェデラルファンド金利または翌日物銀行調達金利のいずれか高い方に、合意されたスプレッドを上乗せした金利が適用される。

2019年12月31日現在および同日に終了した会計年度のいずれの時点においても、当ファンドには借入残高はなかった。

8. その他:配当金収益は、配当落ち日に計上される。利息収益は、Vanguard Market Liquidity Fundから受領した利益分配を含み、日次で計上される。負債証券のプレミアムとディスカウントは、個々の証券の残存年数にわたり、それぞれ利息収益について償却および増額の処理を行う。ただし、直近の繰上償還日に償却される特定のコーラブル負債証券のプレミアムは除く。有価証券取引は、有価証券が売買された日に会計処理される。投資有価証券の売却にかかる実現利益(損失)を決定するために用いられる原価は、売却された個別有価証券の原価である。
- 各クラスの受益証券は、資産および利益に対して同等の権利を有する。ただし、各クラスは別々に、受益者口座の維持(マネジメントおよび管理費用に含まれる)および受益者報告にかかる一定のクラス固有の費用を負担する。マーケティングおよび販売費用は、受託者の理事会が承認した方法に基づいて受益証券の各クラスに配分される。収益、その他特定のクラスに帰属しない費用、投資にかかる損益は、相対的な純資産額に基づいて受益証券の各クラスに配分される。

- B. バンガードとファンドの間のファンド・サービス契約(「FSA」)の条件に従い、バンガードはファンドに投資顧問、コーポレート・マネジメント、管理、マーケティングおよび販売サービスをFSAにおける定義に従ったバンガードの運営実費で提供している。こうした運営実費は、受託者の理事会が承認した方法および指針に基づきファンドに賦課される。バンガードは、一定の運営実費(繰延報酬/給付金およびリスク/保険費用等)については当該期に支払を求めず、これらの運営実費に対するファンドの負債は、純資産計算書上でバンガードへの未払金に含まれている。バンガードに対して未払いのすべての他の運営実費は、通常、月2回決済されている。

バンガードからの要請に応じて、ファンドは純資産の0.40%までバンガードの資本に投資することができる。2019年12月31日現在、当ファンドはバンガードの資本に対して4,286,000米ドル拠出しており、この額は当ファンドの純資産の0.01%未満およびFSAに従って受領したバンガードの資本の1.71%に相当する。当ファンドの受託者および役員は、それぞれバンガードの取締役および従業員も兼務している。

C. 様々なインプットを用いて当ファンドの投資有価証券の価値を決定することがある。こうしたインプットは、財務諸表目的において広く3つの階層に要約される。有価証券を評価するのに使われるインプットまたは手法が、必ずしもこうした証券への投資に伴うリスクを表すわけではない。

レベル1— 活発な市場での同一の有価証券の取引価格

レベル2— その他重要な観察可能なインプット(類似する有価証券の取引価格、金利、期限前償還率、信用リスクを含む)

レベル3— 重要な観察不能なインプット(投資の公正価値を決定する際に用いられるファンド独自の仮定を含む)。重要な観察不能なインプットで評価されている投資は、純資産計算書において記載されている。

以下の表は、2019年12月31日現在の当ファンドの投資有価証券およびデリバティブの市場価格を、評価に用いたインプットに基づき要約したものである。

(単位: 千米ドル)

投資有価証券	レベル1	レベル2	レベル3
普通株式	95,850,282	—	2,134
短期現物投資	2,523,426	33,613	—
先物契約—資産 ¹	1,146	—	—
スワップ契約—資産	—	3,694	—
合計	98,374,854	37,307	2,134

1 報告期間の最終日の変動証拠金を示している。

D. 純資産の簿価ベースと税務ベースの構成要素の永久差異は、税務上の性質を反映して財務諸表において資本勘定間で再分類される。これらの再分類は、純資産または1口あたり純資産に影響を及ぼさない。期末現在、主に現物償還、受動的外国投資会社、およびスワップ契約の会計を要因とする永久差異は、以下の勘定間で再分類されている。

(千米ドル)

	金額
払込資本金	5,586,779
分配可能利益(損失)総額	(5,586,779)

分配可能利益(損失)総額の簿価ベースと税務ベースの構成要素の一時的差異は、収益、利益または損失の特定の項目が、財務諸表目的と税務目的において異なる期間に認識される場合に発生する。したがって、これらの一時的差異は、将来のいずれかの時期に解消される。差異は、主に値洗いにおける損失の税務上の繰り延べ、一部の先物契約およびスワップ契約における未実現利益または損失の実現、ならびに受動的外国投資会社の未実現利益に関連する。期末現在、分配可能利益(損失)総額の税務ベースの構成要素は以下のとおりである。

(千米ドル)

	金額
未分配の通常所得	28,015
未分配の長期利益	—
繰越キャピタルロス(相殺期限なし)	(3,162,458)
純未実現利益(損失)	23,101,411

2019年12月31日現在、投資有価証券およびデリバティブの米連邦所得税目的の原価に基づく未実現評価益(評価損)の総額は、以下のとおりであった。

(千米ドル)

	金額
税務上の原価	75,308,045
未実現評価益総額	30,178,792
未実現評価損総額	(7,077,381)
純未実現評価益(評価損)	23,101,411

- E. 2019年12月31日に終了した年度中に、当ファンドが購入した短期現物投資以外の投資有価証券は22,990,490,000米ドル、売却額は23,887,790,000米ドルである。購入および売却には、ファンドの資本持分の現物による購入および償還のそれぞれ、7,983,307,000米ドルおよび9,952,229,000米ドルが含まれる。

ファンドは、他のバンガード・ファンドまたはバンガードもしくはその関連会社が運用する口座との間で、1940年投資会社法の規則17a-7に準拠して受託会社の理事会が採択した手続きに従って、有価証券の売買を行った。2019年12月31日に終了した年度のかかる購入および売却は、それぞれ4,385,501,000米ドルおよび1,082,834,000米ドルであり、これらの金額は、上記の投資有価証券の購入および売却の金額に含まれている。

F. 受益証券の各クラスの資本持分取引は、以下のとおりであった。

	2019年12月31日 に終了した年度		2018年12月31日 に終了した年度	
	金額 (千米ドル)	口数 (千口)	金額 (千米ドル)	口数 (千口)
インベスター受益証券				
発行	137,396	1,894	587,503	8,034
現金分配に代えて発行	23,964	325	50,656	725
買戻し ¹	(3,431,849)	(45,436)	(1,267,228)	(17,455)
純増加(減少)額—インベスター受益証券	(3,270,489)	(43,217)	(629,069)	(8,696)
ETF 受益証券				
発行	10,788,650	69,540	13,439,385	86,521
現金分配に代えて発行	—	—	—	—
買戻し	(9,704,847)	(62,375)	(11,589,038)	(74,275)
純増加(減少)額—ETF 受益証券	1,083,803	7,165	1,850,347	12,246
アドミラル受益証券				
発行 ¹	8,928,336	119,825	7,056,077	97,331
現金分配に代えて発行	511,551	6,752	460,730	6,590
買戻し	(6,558,591)	(88,898)	(6,159,015)	(85,107)
純増加(減少)額—アドミラル受益証券	2,881,296	37,679	1,357,792	18,814
インスティテューショナル受益証券				
発行	2,619,998	35,784	3,820,210	52,425
現金分配に代えて発行	238,753	3,158	227,800	3,259
買戻し	(3,664,950)	(49,122)	(3,152,569)	(43,975)
純増加(減少)額—インスティテューショナル受益証券	(806,199)	(10,180)	895,441	11,709
インスティテューショナル・プラス受益証券				
発行	1,280,843	6,003	1,060,207	5,115
現金分配に代えて発行	127,673	585	138,407	682
買戻し	(2,304,145)	(11,075)	(1,992,087)	(9,346)
純増加(減少)額—インスティテューショナル・プラス 受益証券	(895,629)	(4,487)	(793,473)	(3,549)

1 2018年11月、当ファンドはインベスター受益証券およびアドミラル受益証券の購入可能度ならびに最低購入基準の変更を発表した。その結果、すべての発行済みインベスター受益証券は、2019年4月から自動的にアドミラル受益証券に転換された。ただし、バンガード・ファンドおよび一部の他の機関投資家の保有分を除く。2019年12月31日に終了した年度の転換によるインベスター受益証券の買戻し、アドミラル受益証券の発行は、それぞれ39,859,000口、39,843,000口で、金額は2,917,816,000米ドルであった。

G. 経営陣は、当財務諸表で認識または開示しなければならない、2019年12月31日以降に生じた事象または取引はないと判断した。